

加古川市議会議員 いなじ 誠 市政レポート



【令和8年 新春号】
(NO.33)

発行日：令和8年1月3日

発行：稲次 誠
住所：加古川市神野町
日岡苑 16-44
TEL：079-437-7551

●元気で笑顔あふれるまちづくりをめざして！

新しい年が始まりました。この数年、社会経済は緩やかに回復しています。物価の上昇は、時代の流れに沿い、賃金の上昇に向けての「適正価格」と理解しなければならぬ面もあります。しかし、先行きが見えない物価の高騰により、日常の生活の不安が拭えません。だからこそ、安心できる日常に向け、皆さまの声を届け、前向きに臨まなければなりません。

今年は勝負の年、安心して暮らせるまち、そして「笑顔があふれるまち」の実現に向け、全力で頑張ります！



●令和8年度予算編成に向け 重要政策提言書を提出！

私が所属する「かがわ市民クラブ」では、市民の方々から寄せられた、ご意見やご要望を基に、令和8年度の政策・予算に反映されるよう、**55項目**を重要政策提言書にまとめ、岡田市長へ提出、意見交換いたしました。



【重要政策提言(要請内容)を一部抜粋】

◆最適な中学校部活動の地域展開『かこ☆くら』の推進

- ・中心となる生徒を一番に考え、クラブの適切な配置及び環境の整備。



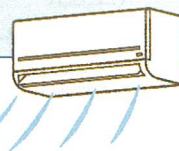
◆受動喫煙防止に向けた、市の責任ある対応

- ・公共施設の敷地境界での喫煙状況に対し、市として責任ある対応。
- ・公共施設の状況に応じ、適切な喫煙所及び喫煙エリアを設置し、分煙環境の整備の検討。



◆大規模自然災害対策と危機管理体制の充実

- ・『防災ポータルサイト』の周知など、より多くの市民への情報が届く取り組みを。
- ・町内会等、自主防災組織が実行力のある組織となるよう、市としてサポートとフォローを。



◆小中学校体育館への空調設備の設置

- ・空調設備に向け、早急な設置調査と設置の推進。

◆障がい者福祉対策の推進

- ・様々な障がい者が情報を取得できる環境に向け、市内企業、事業者に対し積極的に理解の促進と普及啓発。
- ・障がい者団体の加入者だけでなく、多くの対象者の声が届き、参画できる新たな仕組みづくりの推進。
- ・『合理的配慮の促進』において、双方にとって必要な取組であることの周知と理解の促進。

◆公共交通政策の予算拡充による交通不便地域の解消

- ・次期計画の策定(令和8年度)に向け、交通徒歩圏範囲など定義の見直しの検討。



●一般質問(令和6年第5回市議会定例会)

◇『市道の歩道及び街路樹の管理と計画的な整備』について提言

【質問】「市道の歩道の管理の現状と補修計画について」

【回答】1カ月を目安に、市内全域の市道(総延長約1,100km)のパトロールを行っている。目視点検により、主に車道を対象としている。歩道については、定期的な点検はできていないが、通学路の点検や現地に出向く際に確認している。また、市民からの連絡、要望を受け、補修等の対応を行っている。

歩道の修繕計画について、計画の策定には至っていないが、損傷が見受けられる路線については、継続的に補修を行っている。



(舗装面損傷)

【質問】「歩道に悪影響を与えている街路樹に対し、どのような対応を図るのか」

【回答】街路樹の管理については、年に2回程度、剪定や防除等を実施。街路樹の根が歩道に大きな影響を与えている場合、根の一部を切除など、舗装面への悪影響を軽減している。今後は、現状のパトロールに加え、歩道の調査も実施するとともに、地域住民等とも連携し、より良い管理体制の構築に努める。

【意見】歩道を通行する方は、子どもや高齢者といった交通弱者も多い。連絡や通報を待つのではなく、パトロールを行い、計画的な修繕の推進を要請。

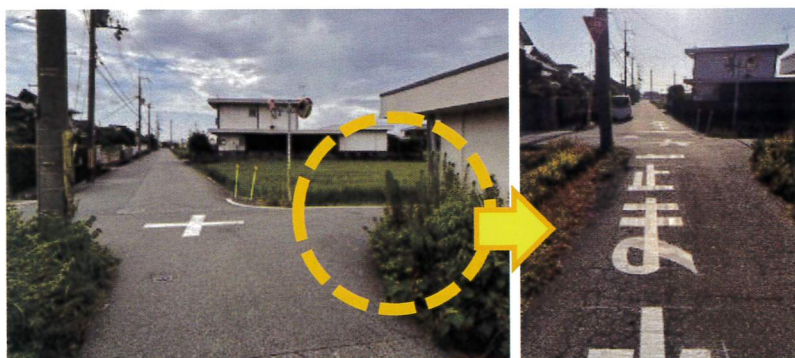
●改善活動(事例の一部をご報告)



… 危険箇所

* 見通しが悪く、自転車と車の接触事故が多い交差点に『一旦停止』設置

➡ 近隣町内会の合意の下、警察に要請。
(設置可否の審査等、設置まで1年)



* 街路樹の根により、歩道の舗装面の凹凸、破損が著しい

➡ 危険状況及び補修の要請。
街路樹の伐採(一部根の切除)と舗装面の補修。
(上記、一般質問により、パトロールの強化と計画的な補修を要請)



* 街路樹の繁茂により、横断歩道で待機する人、自転車が非常に見えづらい状態。

➡ 街路樹の剪定及び植栽部分の除草を実施。

